

草津市指定管理者選定評価委員会議事概要

| | | | |
|-------|--|------|---------------------|
| 開催年月日 | 令和元年10月10日(木) | 開催時間 | 午後0時30分から 午後5時まで |
| 出席者 | 委員5名、施設担当職員各2～3名、事務局4名 各申請団体 | | |
| 傍聴者 | 5名 | | |
| 付議事項 | 指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めること等について ・「草津市立草津アミカホール／草津市立草津クリアホール」の指定管理者の候補者の選定 ・「草津市立長寿の郷ロクハ荘」の指定管理者の候補者の選定 ・「草津市立なごみの郷」の指定管理者の候補者の選定 | | |
| 1 | 開会 | | |
| 2 | 「草津市立草津アミカホール／草津市立草津クリアホール」の指定管理者の候補者の選定 ・担当課より施設概要等説明 ・申請者から申請書について説明(1者) ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) | | |
| 3 | 「草津市立長寿の郷ロクハ荘」の指定管理者の候補者の選定 ・担当課より施設概要等説明 ・申請者から申請書について説明(1者) ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) | | |
| 4 | 「草津市立なごみの郷」の指定管理者の候補者の選定 ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション① ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション② ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) | | |
| 5 | 事務連絡 | | |
| 6 | 閉会 | | |

- ◆令和元年度末で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

①「草津市立草津アマカホール／草津市立草津クリアホール」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

○草津市立草津クリアホール

昭和63年度に県立の文化ホールとして建設されたが、草津市に移管を受け、平成27年1月からは、市立の文化ホールとして運営しており、当初から公益財団法人草津市コミュニティ事業団が指定管理者として管理運営を行っている。

ホールの客席数は668席、補助席は63席あり、中規模の文化ホールに区分される。その他の諸室としては、楽屋、展示ホール、リハーサル室、展示室、練習室、活動室を備えている。

○草津市立草津アマカホール

平成3年度に市庁舎に共に建設。ホールの客席数は302席あり、小規模の文化ホールに区分される。その他の諸室としては、楽屋、リハーサル室、研修室、文化教室を備えている。

平成23年度から指定管理者制度を導入し、これまで同事業団が指定管理者として管理運営を行ってきた。

(2) 募集概要等

募集方法は、非公募により「公益財団法人草津市コミュニティ事業団」を候補者として選定、指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間

(3) 採決方法

候補者として選定するかどうか出席委員の多数決により採決

2 申請者による申請内容の説明および質疑応答

- ◆公益財団法人草津市コミュニティ事業団（以下「コミュ」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：申請書に「本物の芸術」とあるが、定義は。

<コミュ>：地元にもプロの方はたくさんいらっしゃるが、地域創造や文化等で全国で活躍されているプロのアーティストのことを本物という言い方をさせていただいた。

<委>：子育てサロンの内容について具体的に。

<コミュ>：草津市と連携し、年に2回、子育て支援コンサートを実施しているが、普段からロビー等の身近なところで小さなコンサートもさせていただき、サロンの集まっていたきたいなと思っている。

<委>：利用料金収入について、平成29年度から平成30年度にかけて約3分の1減収になっているが、この要因は。

<コミュ>：2年に1度利用される団体が5団体ほどあり、平成29年度は利用があったが、平成30年度は利用がなかったこと、平成29年度には、企業のホール利用があり、営利加算分の収入があったが、平成30年度はなかったこと、さらに平成30年度に利用料金が免除となる草津市の記念事業があったことにより、収入があわせて落ち込んだということである。

<委>：クレアホールに比べ、アマカホールは控え室が少ない気がするが。

<コミュ>：アマカホールは、ホールについている楽屋が洋室と和室各1部屋ずつとなっており、リハーサル室もある。2階には部屋が3つあり、1つは80名が入り、後は大体30名が入ることができる。この2階の部屋も楽屋として使っていただけるよう、ホールでの公演の様子が見えるよう、モニターを設置している。

<委>：一番人気あるのはクリスマスのイベントか。

<コミュ>：劇団四季の事業は、発売から2週間ぐらいで完売するときがある。クリスマスコンサートはオーケストラやダンスショー等が一体となった総合芸術が、安価で見られるというところで、大変楽しみにされている。

最近、結構びっくりしているのが、高齢者の方のジャズファンがとても多いことである。この間のジャズフェスティバルも、たくさんの方が来られていた。

<委>：幼稚園・保育園児を対象とした事業はあるか。

<コミュ>：クレアホールでもアマカホールでも5歳になればホールに来ていただくという事業を幼稚園の先生方と連携してやっている。

3 採決

審議後、出席委員全員の賛成が得られ、指定管理者として「(公財)草津市コミュニティ事業」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。

②「草津市立長寿の郷ロクハ荘」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

敷地面積5,866.88平米、延床面積は1,709.6平米で、鉄骨造2階建て。

地域の高齢者に対して、無料または安価の料金で健康の増進や教養の向上の機会などを提供する老人福祉センターと、地域の方がふれあい、和んでいただけるというふれあいセンター、この2つの機能を持って運営をしている。老人福祉センターには大広間や調理室、会議室等が、ふれあいセンターには多目的ホールや有料の温浴施設、軽音楽室などがある。平成30年度の来館者数は、実績は年間延べ5万6,121人。温浴施設の利用者は3万67人。

施設の管理運営については、民間企業のノウハウを生かした魅力ある施設の運営を期待し、平成18年度から指定管理者制度を導入し、4期指定をしており、4期すべて「公益財団法人草津市コミュニティ事業団」である。3期目の27年度から温浴施設、軽音楽室の使用料について、利用料金制度を導入している。

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間。

8月26日から9月25日の期間、募集要項の配布を行ったところ、応募者は「公益財団法人草津市コミュニティ事業団」1者のみ。

(3) 採決方法

候補者として選定するかどうかが出席委員の多数決により採決

2 申請者による申請内容の説明および質疑応答

◆公益財団法人草津市コミュニティ事業団（以下「コミュ」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：来館しやすい交通手段、オンデマンド交通とは。

<コミュ>：市内巡回バスについて、利用者から希望を募り、運行ルートに近いところは出向いて、送迎するというようなことを考えている。

<委>：平成30年度の実績報告書に「スポーツボイスは非常に好評で、地域の反応に手応えがありました」とあるがどういった反応か。

<コミュ>：第一興商が大学とコラボして開発されたコンテンツを使い、横隔膜や全身の筋肉を使って、声を出すことによって健康につなげようというものを平成28年度から実施しており、年々口コミで広がりを得て、昨年度は多いときは、60人、70人参加者があるような規模に膨らんできたというところで、手応えを感じたというところである。

<委>：今後の利用者の開拓が課題となっているとのことだが、今後に向けてどういう取組を予定しているのか。

<コミュ>：退職後世代の方々に対して新規の開拓をしていく必要があると考えているところである。60代の方はまだまだ勤労意欲があり、まだ我々は高齢者じゃないというような意識をお持ちであるが、そういった方々も早い段階でフレイル予防を取り組んでいただくということと、もう一つはロクハ公園およびロクハ荘に併設している、つどいの広場の「くれよん」を通して、若い世代の方々もロクハ荘を利用できるということをアピールしながら、新規開拓につなげていきたいと考えている。

<委>：中庭にカフェエリアをオープンするとのことだが、いつごろオープンするのか。

<コミュ>：3年目の令和4年度に実現したいと考えている。

<委>：「JA草津さんの協力のもと、新鮮野菜の朝市を実施します」とあるが、利用者が販売するといったことは考えとしてははないのか。

<コミュ>：採れたて野菜を販売することによって、ロクハ荘の賑わいをつくり、新規開拓にもつながればというところで今年度から始めさせてもらった事業である。利用者で、ロクハ荘農園みたいなものをつくって、そこで採れた野菜を販売するというようなこともできればいいが、ロクハ荘の敷地面積が限られており、農園をつくる場所がないので、できない状況である。

3 採決

審議後、出席委員全員の賛成が得られ、指定管理者として「(公財)草津市コミュニティ事業」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。

③「草津市立なごみの郷」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

敷地面積が10,428平米、延床面積が2,462.36平米の鉄骨造2階建て。

高齢者を中心に健康づくりや生きがいがづくり、多世代交流を目的とし、陶芸体験ができる工房、ふれあいホール、大広間などの交流スペースや、有料の温浴施設や軽音楽室がある。

また、屋外にはグラウンドゴルフが行える健康スポーツゾーンがある。

平成30年度の来館者数の実績は、年間延べ8万5,393人。温浴施設の利用者は5万2,158人。

平成18年度から指定管理者制度を導入しており、1期から3期までの期間は、公益財団法人草津市コミュニティ事業団が指定管理者、4期目は、特定非営利活動法人ひかりグループ。なお、3期目の27年度より温浴施設、軽音楽室の使用料について、利用料金制度を導入している。

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間。

8月26日から9月25日の期間、募集要項の配布を行ったところ、応募者は2者。

(3) 募集結果

申請者 2団体

(4) 審査内容

- ・他の公共施設や福祉施設、温浴施設等の指定を管理されているか、また、市の運営理念にのっとった提案となっているかという点。
- ・この施設の効用を最大限に生かした入館者数を増やすための方策の計画。また、介護予防等に資する講座等について、利用者の視点に立ったサービスの提供を予定しているかという点。
- ・施設の維持管理を安全かつ快適に、そのための職員体制や、苦情、救急対応ができれば得る人員を確保しているか。また、見積金額についても妥当なものであるか。

(5) 採決方法

各委員の採点結果を参考に、候補者を選定する。

2 各申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆申請者A（以下「A」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：軽食のコーナーについて、カロリーや塩分表示はするか。する場合は栄養士が行うのか。

<A>：表示したい。栄養士はいないが、社内にメニュー開発をする部署があるので、そちらから参照する。

<委>：今回、申請された理由は。

<A>：縁があって愛荘町で施設管理をさせていただき、岐阜の御当地サービスや御当地メニューといった岐阜では当たり前と思っていたサービスが、滋賀県では、すごく感動していただいて、受けられるということに自信を持ち、滋賀県で、もう1、2施設やっていきたいなというふうには思ったため。

<委>：現在管理している類似施設について、施設としての類似なのか、利用者の類似なのか、その類似点について、説明していただきたい。

<A>：施設の設置目的と利用者両方だと思った。介護予防、入浴施設、飲食コーナー、といったものが、今管理運営している施設に全てあり、利用者も高齢者が多いという、ところも非常に似てると思い、我々が岐阜でやってるサービスを、こちらの市でもすれば、受け入れをしていただけるんじゃないかなと思った。

- <委>：申請書に「お客様との対話にて御意見を伺い、確認したいと考えております。」とあるが、どういう手法で、意見を聞くのか。
- <A>：スタッフがお客様とお話をさせていただくことで意見を伺う。例えば、会話の中で、「こんなアンケートがあったんだけど」と話したとき、それはそういうことじゃないとか、こうじゃないっていうように、という返答があり、それによって見えてくるものがあるので。
- <委>：全部直営のメリットとして、例えば、食堂を担当している方が、別の業務を応援するようなことも可能か。
- <A>：定期的に配置を変えるということはないが、例えば、事務所の担当がお風呂の水質検査のために、ちょっと離れるよとなったときに、カフェの担当が受付を手伝うというような流動的なことができると思う。また、利用者の方からすれば、スタッフ自身が、私の業務じゃないから関係ないとかということとは言えなくなると思う。さらに、利用者により親しくなれると思う。
- <委>：あなたちのセールスポイントは。
- <A>：全スタッフが直雇用であることである。そのことによりお客様との距離感が近くなり、関係性を築けるので、利用者にとって心地がよく、長くいたくなるような施設になると思う。

◆申請者 特定非営利活動法人ひかりグループ（以下「ひかり」という。）による申請内容の説明：略

- <委>：利用者の減少傾向の原因について、どう分析しているのか。
- <ひかり>：なごみの郷に来られる方は常連の方が非常に多い。しかしながら、新規の方については、存在は知っているが、利用したことがないとか、もともと私には興味がないだとか、高齢の方でも働いていらっしゃる方も多いといった理由で利用が少ないということが、まず1つある。そういった中で、常連だったお客様が例えば、御病気をされたとか、そういったことであれば、毎日お一人必ず来ていただいた場合は、単純に、開館日が25日あった場合、延べ25人の減というような形で減ってるというような状態である。
- <委>：プレゼンテーションで団体送迎を、この4月より始めましたというふうにおっしゃっていたが実績について。
- <ひかり>：4月から9月までの間で延べ11団体、350名の利用があった。利用者は老人クラブや子ども会等の方たちで、工房、そして調理室等の稼働率もアップした。また、レストランのほうも利用いただき、さらなる相乗効果を生んでいる。
- <委>：職員の指導についてはどうか。
- <ひかり>：職員の指導については、当然、問題が起こったときに関しては随時行うが、定期的に月1回のミーティングを設けており、その際に、日々の業務や事業の進め方や常連さんたちの要望について皆で共有して、業務に生かそうとしている。
- <委>：トラブルが起こったときに具体的にどう対応しているのか。
- <ひかり>：例えば、なごみの郷は卓球台が2台あるが、一般利用される方と、同好会として利用される方との衝突というようなことがあり、職員が同好会と一般利用の方との間に入って話しをさせていただき時間調整を行った。

3 採決

各委員によるそれぞれの申請者の採点后、最も高い得点を得た、「特定非営利活動法人ひかりグループ」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。